

魚

羅臼町広報誌

7
2012

NO.253

魚の城下町

みんなが主役のまち

FRA 診察室1
UNDER



安心して暮らせるまちづくりへ

～知床らうす国民健康保険診療所 診療開始～

～みんなで作る・みんなの診療所～ 知床らうす国民健康保険診療所 7月2日オープン

昨年7月1日に着工となった“新診療所建設”施設の完成により、7月2日から診療開始となりました。
これからみなさんと共に歩み始める“知床らうす国民健康保険診療所”についてご紹介します。

みなさんから頂いたご寄附が、
新診療所の建設の実現に大きな力となりました。
ありがとうございました。



羅臼に生息している動物を型取ったピースに、ご寄附を頂いた方々の氏名を記入し、記念レリーフとして羅臼町のシンボルマークを描きました。

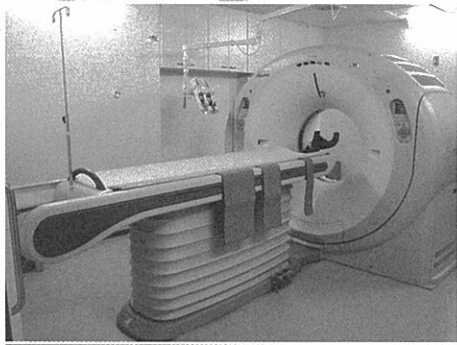
6月23日の開設セレモニーでは残りの3ピースを、羅臼町女性団体連絡協議会副会長の野祥子さん、羅臼町老人クラブ連合会会長の湊屋清さん、入学祝いのお返しを診療所建設基金に寄附してくれた望月あゆこちゃんにはめ込んでもらいました。



「知床らうす国民健康保険診療所」に至るまで

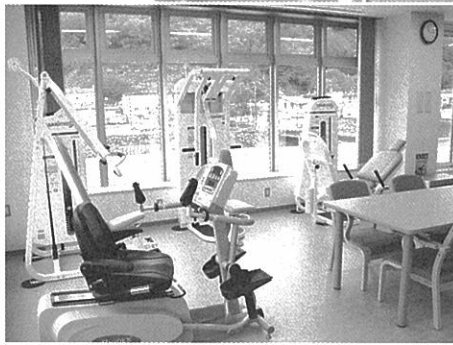
- | | | |
|-------|--------|---|
| 昭和35年 | | 町立国保病院の設置とともに病院施設を新築 |
| 昭和43年 | | 増改築工事 |
| 昭和61年 | | 老朽化に伴う大規模改修工事 |
| 平成19年 | 7月21日 | 入院病棟休止、夜間・休日の救急患者受入停止 |
| 平成20年 | 4月 1日 | 「羅臼町国民健康保険診療所」として運営開始 |
| 平成21年 | 10月 5日 | 道東ドクターヘリの運航開始 |
| 平成23年 | 2月24日 | 社会医療法人孝仁会と指定管理者制度導入で調印 |
| | 8月29日 | 新診療所の名称が「知床らうす国民健康保険診療所」に決定 |
| | 10月 3日 | 社会医療法人孝仁会と「羅臼町国民健康保険診療所の指定管理者による管理に関する基本協定書」に調印 |
| 平成24年 | 4月 1日 | 「知床らうす国民健康保険診療所」として運営開始 |
| | 6月23日 | 「知床らうす国民健康保険診療所」開設セレモニー |
| | 7月 2日 | 「知床らうす国民健康保険診療所」新施設において診療開始 |





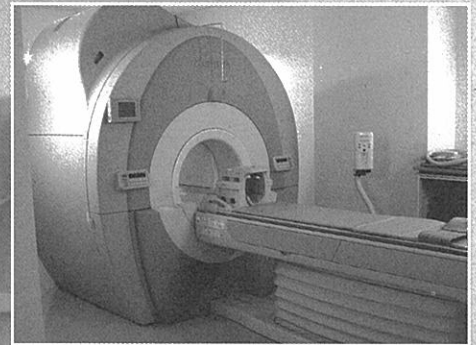
64列CTスキャナ(1階)

従来のCTよりも高性能で短時間・広範囲の撮影が可能



リハビリテーション室(3階)

通所リハビリとして使用できます



1.5テスラMRI(1階)

全身の病変の描出が可能な最新の画像診断装置



スタッフステーション(2階)



透析室(2階)



食堂・デイルーム(2階)

町民のみなさんへお願い

- ・新診療所の体制となり、全てにおいて新しい機器が導入されております。電子カルテなど、不慣れな点でみなさんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、温かく見守っていただきたいと思っております。
- ・健診など予防医療体制を整えておりますので、「自分の健康は自分で守る」という健康意識を持って生活改善をしていただきたいと思っております。
- ・新診療所は“夜間診療所”ではありません。翌日も勤務となる当直医の負担とならないよう、コンビニ受診をしないなど、日中の受診にご協力をお願いします。
- ・看護師などに精神的な負担をかけないためにも、乱暴な言葉遣いはしないようご協力をお願いします。
- ・新診療所スタッフ一同、町民のみなさんに対する接遇などは改善していく心づもりですので、クレームは投書箱、もしくは事務長までお願いします。

社会医療法人孝仁会が考える “これからの診療所運営”

予防医療 ～「自分たちの健康は自分たちが守る」という健康意識をサポートする体制へ～

予防医療に取り組んでいただくため、健康診断・特定健診・人間ドック・脳ドック・心臓ドックなどの体制を整えます。

外来診療 ～様々な疾患を受けることが出来る体制へ～

各種専門外来について、町外の多くの先生に応援をいただきながら継続していきます。

中標津町・釧路市内の各医療機関と共に連携を取りながら、診療を受けられる体制を築いていきます。

これまで通院の身体的・経済的負担もあった透析治療について、平成24年9月より体制を整えます。

入院医療 ～術後や症状に応じた入院体制へ～

町外の病院を退院したが継続して経過を見る場合や、軽度な症状だが2～3日経過を見る必要がある場合など、安心して帰宅できる体制を整えます。

在宅や各施設の看取りを支援していきます。

救急医療 ～初期救急を受け入れる体制へ～

家庭で処置出来ない治療を必要とする“初期救急”を受け入れする体制を整え、入院や手術を必要とする“2次救急”については町立中標津病院や釧路市内の各医療機関にお願いしたいと考えております。

町民みなさんが待ち望んでいた新診療所。

新しい施設に新しいスタッフ、そして新しい経営体制となり、これから一歩ずつ前進していきます。

安定した医療を提供するためにも、みなさんと共に歩む「みんなでつくる・みんなの診療所」を合言葉に、ご協力をよろしく申し上げます。

知床らうす国民健康保険診療所 0153-87-2116

いっすの★医療費



羅臼町国民健康保険の高額な医療費の実態

羅臼町の実態

平成21年度の羅臼町国保加入者の総医療費は「5億8149万7960円」となっており、他市町村と比べても高額な医療費を負担しています。

負担した医療費の中で件数が多い病気は、

- がんや慢性腎不全
- 脳梗塞や脳出血などの「脳の血管の病気」
- 心筋梗塞や狭心症、不整脈などの「循環器の病気」
- 骨折や変形性関節症などの「整形外科の病気」などです。

そのうち、がんは29件で、肺がん、乳がん、胃がんが多く、次いで結腸がん、子宮がん、卵巣がんなどの婦人科系のがんが多いです。

また、心筋梗塞や脳梗塞などを発症した方のうち、多くの方が、持病として高血圧や糖尿病

にもかかっていました。それにより、別な合併症を引き起こすなど、さらに医療費を負担しています。

定期的な健康診断を受診しないことで、からだの変化に気付かず、治療の際には多額の医療費を負担するケースが多いです。

羅臼町の課題

町では、4月1日現在で国保に加入している方に対し「特定健診受診券」を配布し、健診を勧めておりますが、受診率は目標を大きく下回り、伸び悩んでいます。（※表1、表2参照）

また、受診されたみなさんの健診結果で、特に目立つのは、血液の中のコレステロールや、血圧が健診の基準値を上回る人が多いことです。コレステロールや血圧が高くても症状は全く無く、治療を必要としない人もいます。また、他の持病や、両親など家族の方にどんな病歴があるかでも異なりますが、羅臼町の医療費の状況を見ると、高額な医療費の負担を必要とする心筋梗塞や脳梗塞などの発症には、血圧やコレステロールの高さの影響も否定できません。

表1 特定健診受診率の推移

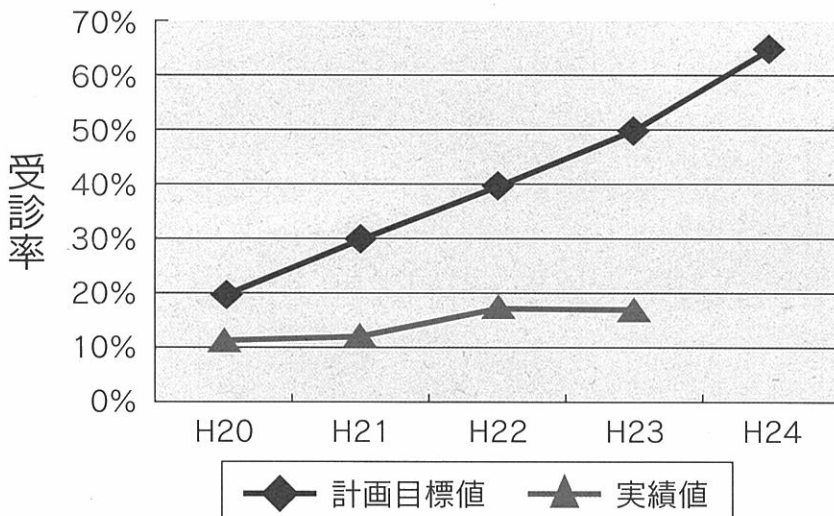
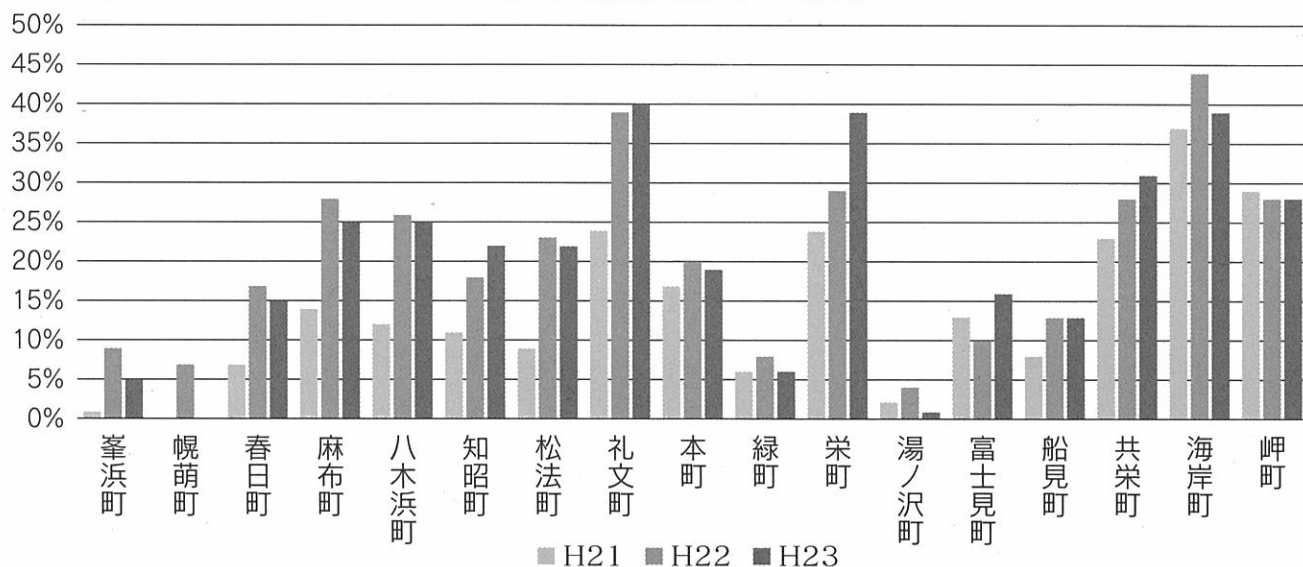


表2

町内会別受診率の推移



羅臼町の取り組み

羅臼町では健診を受けた方に対して、「健診結果説明会」を行っています。昨年までは個別に結果をお話ししていましたが、今年からはセミナー形式にし、結果の見方や食事のことなど、健診を受けた方に共通する内容をお話ししています。

その中で、コレステロールや血圧の高い方は、健診の結果「特定保健指導」の対象となることがあります。対象となった方は、将来的に脳梗塞や心筋梗塞、糖尿病などといった「生活習慣病」を引き起こす危険性が高いため、保健師や栄養士が個別でお話をさせていただく場合があります。

これまで、大きな症状も無く、過ごしてきたことにより、ご自身が病気となり、重症化した時に、初めて健康の大切さに気がきます。そうならないよう、日頃から健康診断や各種ドックなど、予防医療に取り組み、健康を維持することで、医療費の負担も抑えることが出来るでしょう。

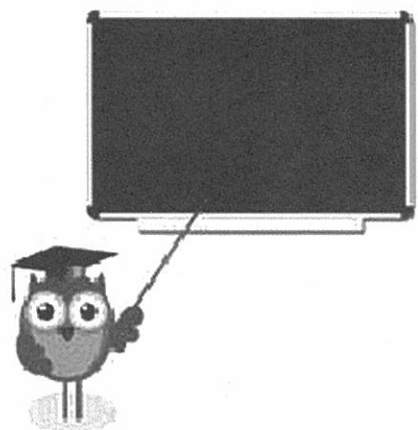
町民のみなさんへお願い

みなさんが納税している国保税にも限界があります。

限られたお金を有効に使うためにも、ご自身やご家族の健康状態をあらためて確認していただき、必要であれば、運動や食事などの生活改善に取り組んでいただきたいと思います。

また、あわせて町で行っている総合健診などをご利用いただき、自主的な予防活動にご協力いただけますようお願いいたします。

【保健福祉課 87-2161】



介護保険について知ろう

介護保険サービスの利用で、笑顔広がるわが家がここに！

日常生活に何らかのお世話が必要になったら...

介護は老後の大きな不安の一つですが、介護保険サービスを上手に利用することで、慣れ親しんだわが家での暮らしを継続することができます。また、万が一、家庭での介護が困難になった場合には特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所し介護を受けることもできます。

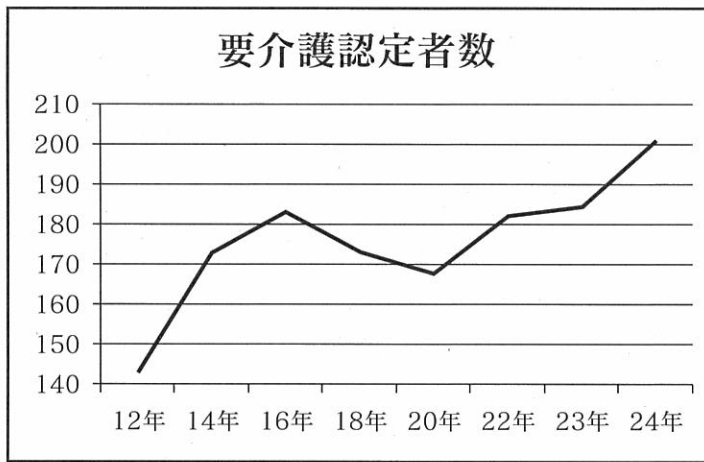
本格的な長寿社会の到来で、介護保険に寄せられる期待はますます大きくなっています。今回は、スタートから12年経過した介護保険の“今”をお伝えします。

要介護者の推移

羅臼町でも高齢者数の増加に伴い、要介護・要支援認定者が増加

しています。

平成24年5月末現在での要介護・要支援認定者数は200名を超えました。



高齢者の方が住み慣れた家で、暮らし続けることができるように

介護保険制度が開始された当初から、介護支援専門員として町の介護を支えてきてくれたNPO法人ゆとりステーションの小出介護支援専門員に今の思いをうかがいました。



NPO法人ゆとりステーション事務局長（介護支援専門員）小出 洋子氏

羅臼の方は家族総出で仕事に従事されている方が多く、介護が必要になると本当に大変です。しかし、その一方で、高齢者の皆さんは本当に住み慣れた自宅での生活を希望されます。その中で私は何とか家族もご本人も希望される生活を継続できないかと考え日々仕事をしています。羅臼町の介護サービスも少しずつ充実し、たくさんの介護職員が生活のお手伝いができるようになっていますが、家族の励ましや声かけは、それには敵わないすごい力があると思います。

将来は本人が希望すれば在宅で最後を迎えられるそんな町になってほしいと願っています。また、そのお手伝いも是非したいと思っています。

介護保険サービスを利用するにはどうすればよいの？

町に申請して介護や支援が必要であることの認定を受ける必要があります（要介護（要支援）認定）。申請後は心身の状況について町の認定調査を受けていただき、また、認定にあたっては主治医の意見をうかがった上で専門家による会議（介護認定審査会）で判定します。手続きの詳細、介護保険サービス（左記）の利用については役場介護保険担当または地域包括支援センターにご相談下さい。

<町内の介護保険サービスの状況>

訪問介護事業所	2か所
通所介護事業所（デイサービス）	2か所
通所リハビリテーション	1か所
小規模多機能居宅介護	1か所
グループホーム	1か所
地域密着型特別養護老人ホーム	1か所
在宅サービスの利用支援（居宅介護支援）	2か所

「わたしたちがいますよ！」
高齢者の総合相談窓口

「地域包括支援センター」
(07)58880



地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者の方を介護、福祉、保健、医療など、さまざまな面から総合的に支えるための機関です。役場保健福祉課内にあり、介護予防、介護支援サービスなどの介護全般に関する相談に応じます。センターではケアマネージャーや保健師といった専門家がお待ちしていますので、お気軽にご相談ください。ご本人でなくても、ご家族や近隣の方のご利用も可能です。

<平成24年度スタッフ体制>

センター課長	斉藤 健治
主 幹	洲崎 久代 (主任介護支援専門員)
包括ケア係長	大沼 良司
介護予防係長	飯島 祥子 (保健師)
介護支援専門員	八幡 明美
介護支援専門員	斉藤 晴美

このメンバーで地域の皆さまのご相談に応じていきます。どうぞよろしくお願いいたします。



後列左から 洲崎・大沼・斉藤(晴)
前列左から 八幡・斉藤(健)・飯島

高齢者の方の介護予防・健康促進事業

いきいきサロン

「元気だったかい？」
「久しぶりだね〜」

月に1回、町内3か所の会館で開催されている高齢者サロンの一コマです。

満70歳以上の高齢者の方で要介護認定を受けていない方であればどなたでも参加できます。午前中のふまねっと運動では失敗してもご愛敬。みんなの笑い声が声援となり、楽しく取り組んでいます。



参加されている方に感想を聞いてみました。

菅谷さん(共栄町)

「私はサロンが始まった時から来ているよ。楽しくて、楽しくて。1か月が長いんだ。」

工藤さん(栄町)

「みんなでお話したり、ふまねっと運動をしたり、騒いでいるのがとっても楽しい。自分おにぎりも作ってくるんだけど、今日はちょっと大きすぎたかな(笑)。」

皆さん、楽しそうですね。サロンの詳しい内容は、地域包括支援センターにお問合わせ下さい。



妊婦さんへの制度、 助成について

昨年は羅臼町の出生数が多く、久しぶりに出生率も上がりました。子どもがたくさん生まれるというのは喜ばしいことですね。そこで今回は羅臼町の妊婦さんに対する事業のご紹介をします。

①妊婦健康診査費助成

妊娠期間中に受ける健診費用を14回分助成します。血液検査などの他、超音波検査も6回分受けることができます。妊娠週数に見合った健診を受けていただくため、妊娠が分かったらすぐに母子手帳と健診助成券の手続きをお願いします。



②ぷれ♪ママスクール

母親学級という名称を一新し、妊娠中のママの気がかりや、ママのご飯はどうしたらいいの?など楽しく学んでいただけるようにしました。

また、生まれてくる赤ちゃんへのプレゼントとして絵本作りも行っています(ファーストブック)。図書室の司書さんが簡単に、思い出に残る絵本作りをサポートしてくれます。

③妊婦宿泊助成制度

冬の期間に妊婦健診に行かれて悪天候などで帰ることができない方に対し、1泊5,000円を限度に3泊まで宿泊費の助成をします(食事代は除く)。予定日によっては対象とならない方もいらっしゃいますので、保健福祉課窓口でご確認ください。

赤ちゃんがお腹の中で健康に育つには、ママになる方の健康が大事です。特に羅臼町では肥満の妊婦さんから未熟児や体重の小さな赤ちゃんが生まれています。妊娠していない状態でBMIという肥満を示す数値が25を超えている方は、体重コントロールをしっかりと行いましょう。

※BMIの出し方：体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

体重55kg 身長158cmの方は… $55 \div 1.58 \div 1.58 = 22.0$

この場合は25を超えていないので肥満ではありません。



元気な健康家族キャンペーン

健康絵画・健康川柳



発表します！

コンテスト結果発表



町民賞

小崎 美伸ちゃん
羅臼小学校 2年生

保健推進員賞

川柳部門

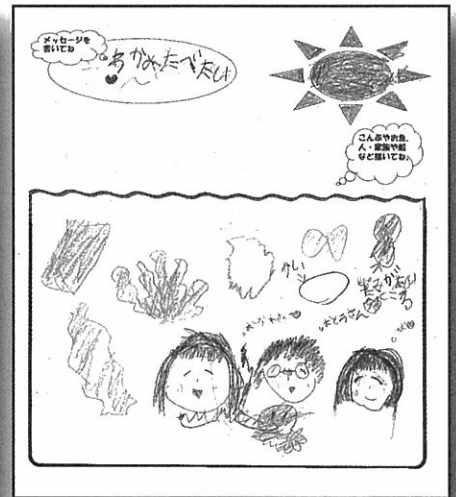
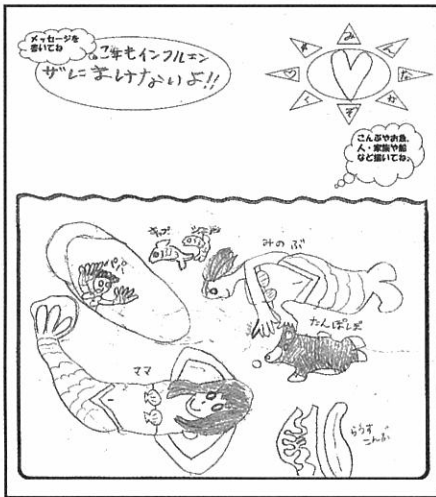
ペンネーム

スナックふみさん

保健推進員賞

絵画部門

いいじま つむぎちゃん
春松幼稚園 すみれ組



絵画7点、川柳9点の応募作品がありました。どれも素晴らしい作品でした。保健推進員賞と町民賞・参加賞の皆さんには、後日賞品をお届けします。来年も子どもたちの視点から、家族の健康や地域の健康づくりの取り組みへと発展させていきたいと思っています。

子育て情報ひろば ~すくすく~

7月・8月・9月の子育てに関する情報♪

- 7月27日 カモメ号読み聞かせ
- 7月30日 ありんこ計測
- 8月3日 すくすく広場
- 8月17日 カモメ号読み聞かせ
- 8月22日 春松幼稚園訪問
- 8月28日 こどもに合わせたごはんのお話
- 8月31日 のびのび遠足 ※事前申込必要
- 9月7日 すくすく広場
- 9月14日 カモメ号読み聞かせ
- 9月19日 おまつりごっこ ※事前申込必要
- 9月24日 ありんこ計測
- 9月27日 ちいさい子のふれママ♪同窓会 (公民館)
- 9月28日 カモメ号読み聞かせ



※9月27日以外は、ありんこが会場です。

7月となり羅臼にも夏がやってきましたね！ この季節は大人も子供もアイスを食べる機会が増えるのではないのでしょうか？
実は、アイスはリンゴと比べると63.8倍も虫歯をつくる能力があると言われていてます。アイスの食べ方や量、食べた後の歯のケアなど気をつける必要がありますね。

～羅臼の環境情報だより らっきょう～

羅臼湖への入口が変わります

●羅臼湖について

みなさん、『羅臼湖』をご存知ですか。羅臼湖はせき止め湖で、知床横断道路の途中に羅臼湖へ向かう歩道の入口があります。

また、入口から羅臼湖まで向かう途中、5つの沼の他、様々な動植物を見ることができると、静寂な自然景観を手軽に楽しめる場所です。

●羅臼湖周辺の現状

近年は、利用者の増加のほか、木道の破損が激しく、ぬかるみを避けて通る人が後を絶たないなどの理由により、希少な湿原植生への悪影響が出ています。

また、羅臼湖へ向かう歩道の入口は横断道路のカーブ途中にあり、駐車禁止の場所であるにもかかわらず、違法駐車が増え、交通安全上の危険性が指摘されています。

現在関係機関で話し合いが行われており、利用のルール作りなどが検討されています。

●羅臼湖への入口が変わります

現状を話し合った結果、

- ① 希少な湿原植生を守るため、湿原の中心などを通過していたルートは周辺部分に。
- ② 交通の危険が無いよう、道路からの入口を直線部分に（駐車はできません）。



《木道が破損し、雨が降った後はぬかるみ状態に》

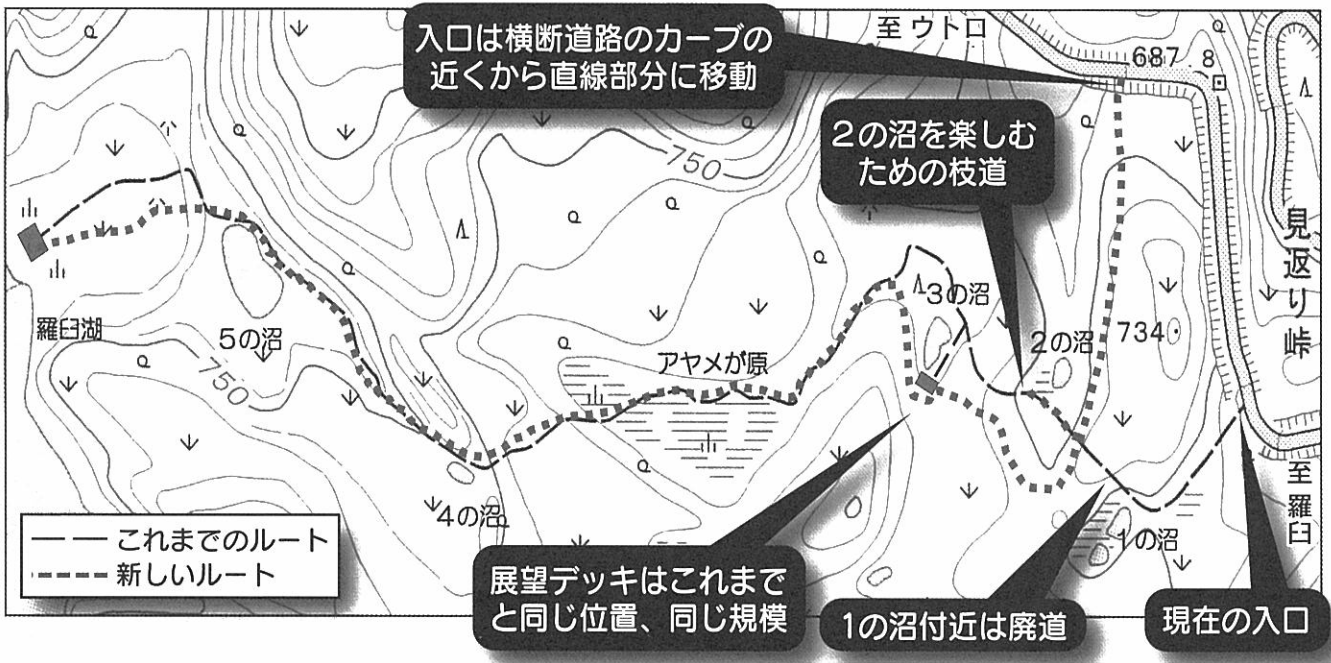
下記の図のように、これまでの歩道から一部区間を変更することとなりました。

工事はこれから行われ、8月中旬から9月中旬ぐらいまでには、バス停留所の位置が変更となる予定です。また併せて入口から2の沼までの工事も実施予定です。

●今後の維持管理は

整備されたあとの維持管理は、これまでは、環境省・林野庁・北海道が行っていましたが、平成25年度からは『羅臼湖歩道維持管理部会』を設置し、羅臼町が事務局を務め、関係機関との協働により維持管理を実施することとなりました。

みなさんも、新しくルートが変わるこの機会に、羅臼湖までの自然を楽しんでみませんか？



子供たちの未来のために健康で美しい水環境を...

合併浄化槽設置者の3つの義務

きれいな河川や海、そして基幹産業である漁業を守り続けるために、町には「羅臼町生活排水処理基本計画」があります。

主な計画として、合併処理浄化槽の整備があり、平成3年度から平成23年度末までに町内に設置された浄化槽の数は81基となりました。

しかし、浄化槽は間違った使い方をすると、本来の処理能力を発揮できません。

浄化槽設置者のみなさん、もう一度使用方法について確認をお願いします。

合併浄化槽の設置者には保守点検・清掃・法定検査の3つの義務が定められています。

保守点検：保守点検は浄化槽の健康管理です。浄化槽の機能を正常に保つために極めて重要です。

清掃：汚泥の引き抜き、機器類の洗浄、掃除。維持管理の上でも重要です。

法定検査

法定検査は、浄化槽の健康診断です。浄化槽の保守点検や清掃が適正に行われているか確認するために指定を受けた検査機関が検査をします。

これらが、設置者に義務付けられており、受けることを約束してもらい補助金を出しています。

検査を受けない場合は、指導や改善命令等が行われる場合があります。命令に従わない場合は、罰金30万円以下の過料の適用を受ける場合があります。

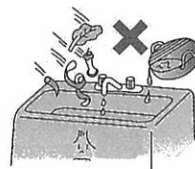
また町では、今後未受検者に対し、補助金返還も視野に入れ、取組みを強化をしていきます。

合併浄化槽の上手な付き合い方

① 便器の清掃には、強い酸やアルカリの洗剤を使わないでください。微生物が死んだり弱ったりし、機能低下になることがあります。



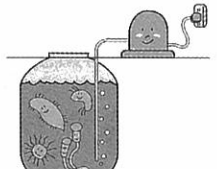
② 台所から油分を流さないでください。鍋や皿の油を紙で拭いてから洗うと効果的です。



③ 水に溶けないティッシュ、タバコ、紙おむつ、生理用品などは絶対に流さないでください。



④ 電源は絶対に切らないでください。悪臭の原因は、ブローが停止すると槽内の微生物が死んでしまうためです。



⑤ カビ落とし剤の使用は控えめにしてください。使用後は十分に水を流しておきましょう。



⑥ 浄化槽の上には、物を置かない。いつでも点検や清掃ができるようにしておきましょう。



⑦ マンホール周辺での注意
蓋がずれていたり、外れていることがないように。お子さんたちにも注意をさせてください。



⑧ 残飯等を流すことはできません。

北海道では、デイスポーターの使用は認められておりません。



今年度、合併処理浄化槽設置希望者は、お早めに役場環境生活課で申し込みを！

新築を予定されている方は、8月31日までに役場窓口にお越しください。

お問い合わせは：

環境生活課 87-2115

羅臼町内の全学校・幼稚園が ユネスコスクールになりました

羅臼町内の幼稚園、小学校、中学校と高校は、このほどそろってユネスコスクールに登録され、去る6月27日(水)に羅臼町公民館大ホールにおいて登録認定証の交付式が行われました。

ユネスコスクールとは

国連のユネスコ憲章に示された理念を学校教育で実践するため、1953年に発足した、世界の学校のネットワークです。

世界180カ国で約9000校が登録しています。日本国内では、2012年4月現在、397校の幼稚園、小学校・中学校・高等学校や一部の大学がこのネットワークに登録しています。

ユネスコスクールは、そのグローバルなネットワークを活用し、世界中の学校と交流し、生徒間・教師間で情報や体験を分かち合い、地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指しています。

ユネスコから年に数回、世界のユネスコスクールの活動報告が記載されている情報誌が送付されるとともに、ユネスコが行う国際交流など様々な活動に参加する機会があります。

ユネスコスクールになると

ユネスコから年に数回、世界のユネスコスクールの活動報告が記載されている情報誌が送付されるとともに、ユネスコが行う国際交流など様々な活動に参加する機会があります。

文部科学省や日本ユネスコ国内委員会では、ユネスコスクールの登録の普及に取り組んでいます。

ユネスコスクールに登録している学校

根室管内には、羅臼町以外にユネスコスクールに登録している学校はまだありません。

近隣では、釧路市内の湖畔幼稚園、教育大学付属釧路小学校、厚岸町立太田小学校、斜里町立峰浜小学校、斜里高校、清里高校などが登録しています。

ユネスコスクール登録までのあゆみ

羅臼町内の学校は、なぜユネスコスクールに登録したのでしょうか。

羅臼町では、昔から知床の豊かな自然を活用した自然体験型の環境教育が行われ、優れた環境で、伸びやかに人材の育成がなされていました。

知床半島が、世界自然遺産地域に登録され、世界の宝物になりましたが、私たちの生活の場であることには変わりありません。

知床で生まれ、育ち、生活していく人々には、今まで以上に知床の歴史や自然をよく知り、自信と誇りを持ってふるさとを大切に未来へと引き継いでいく責任があります。

また、その責任を自覚することで、学ぶ目的を明らかにし、世界と交流し広い視野を持った人材を育てることは、羅臼の発展につながります。

そのために、今まで環境教育の視点に加え、ユネスコスクールとして活動することが、重要となってきます。

これからも町の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

[教育委員会学務課 87-2129]





節電の夏、テレビを消して 図書室へ行こう♪

テレビ・ゲーム・パソコン等を消して家族で本を読みませんか。同じ本を読むと話題が広がり、親子のコミュニケーションが深まります。小さな子どもには絵本の読み聞かせを。読む本は図書室が無料で貸し出します。電気使用量・CO₂が減り、お財布にも地球にも優しい「読書&エコライフ」を応援します！

「おいで、一緒に行こう」

福島原発20キロ圏内のペットレスキュー



森 絵都 / 著
文藝春秋

残された動物たちを救うべく被災地に向かった人達の無償の愛をそそぐ姿を描く。

「がたんごとんがたんごとんざぶんざぶん」

安西水丸 / 作 福音館書店



シリーズ新刊の海バージョンが出版されましたよ。赤ちゃんと読むのにおすすめです！



知る 学ぶ 楽しむ 考える

「置かれた場所で咲きなさい」

渡辺和子 / 著 幻冬舎

置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へと降ろしましょう。「時間の使い方は、そのまま、いのちの使い方なのです。置かれたところで咲いてください」(抜粋)



「楽園のカンヴァス」

原田マハ「秋思ノ人」
佐伯康英「きみはいい子」
中脇初枝「続・悩む力」
姜尚中「ミツカン社員のお酢レシピ」
「大人に似合う春夏服」
「実はスゴイ！大人のラジオ体操」
など
ほかに児童書も沢山！

本が泣いています。
おねがい
水濡れ、破れ、食べこぼし、いたずら書きなど無いよう本の取り扱いには十分ご注意ください。弁償していただく場合があります。



道立図書館市町村支援事業「子ども読書ボランティア育成事業」が道立図書館・根室管内図書館協議会の主催、羅臼町主管で開催し、図書館職員やボランティア団体、福祉・教育関係者らが集い、「子どもと本を結ぶための方策」について学びました。

「結ぼう、つなごう、広げよう！」
子どもの読書活動
ネットワーキング研修会
7月9日 羅臼町で開催



まず、子どもの一番身近にある学校図書館については、釧路市教育委員会専門員高木真美氏が市内の学校図書館電算化が「一人のつながり」によって押し進められ、協力の輪が広がり活性化していった事例を発表。
また、公共図書館がボランティア育成に取り組むための講義や、参加者の情報交流もあり読書を通して子ども達に伝えたい熱い思いも話され、有意義な研修会となりました。





城下町のわだい

みんながまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。

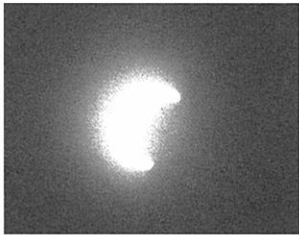
ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載していきたいと考えています。みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！



世紀の天体ショーに釘付け

国内の観測は25年ぶりとなる「金環日食（羅臼町内は部分日食）」を羅臼小学校の生徒全員で観察しました。

観測時刻の8時頃になると、鑑賞用メガネをかけた子供たちは、「すごいすごい!!」と歓声を上げ、ヒマワリのように太陽に顔を向けていました。



平尾晃一氏 提供

次回の金環日食は18年後の2030年、道内で観測可能とのことです。



羅臼にサクラを

釧路自動車販売店協会（池田稔会長）より、市街9号線（羅臼中学校に向かう道路）沿いに「エゾヤマザクラ10本」を寄贈していただきました。

平成22年度より協会の緑化事業の取り組みとして、釧路管内の市町村にサクラの木を植樹されているそうです。ありがとうございました。



5年目を向かえた 継続的なご厚意に感謝

今年も北海道コカ・コーラボトリング株式会社（矢吹健次社長）より、町内の自動販売機の売上金の一部「357,608円」を、知床・羅臼まちづくり基金の「知床の自然保護・保全に関する事業」に寄附していただきました。ありがとうございました。



6月12日(火)
13日(水)

まちの美化に一役

本町と緑町のみなさんで構成されている「本町みどりの会（野田照雄会長）」のみなさんが、今年もオジロ橋の草むしりをしてくださいました。海風が冷たい中、みなさんの笑顔と自主的な活動は、見る人の心を温かくしてくれます。ありがとうございました。



6月12日(火)
13日(水)

待ちに待った晴れ舞台



私たちは応援に
応えるよう奮
闘していまし
た。

あいにくの雨により、延期となった羅臼小学校・春松小学校の運動会。代替日は平日にも関わらず、たくさんのお客様で埋まり、子供



6月16日(土)
17日(日)

観光シーズン到来

知床横断道路が全面開通し、本格的に観光シーズンの迎えた中、第51回知床開きが開催されました。

今年の当日祭は、ここ数年にない土砂降りの雨。そんな天候にも関わらず、期間中の入場者数は昨年度を大幅に上回る約9,000人を数えるなど、

たくさんの方にご来場いただきました。また、当日祭の歌謡ショーを行った沢田知可子さんは「サケ大使」として任命され、今後羅臼町のサケを全国にPRしていただくこととなりました。

期間中、お手伝いいただいた方、ご来場いただいた方、みなさんありがとうございました。



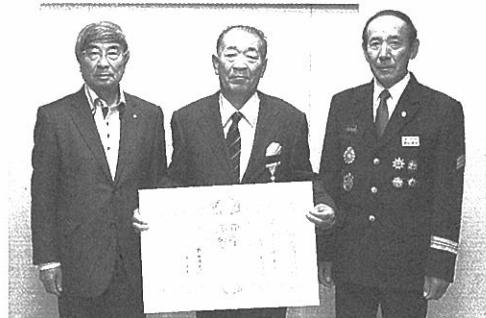
6月21日(木)

功績をたたえて



平成24年春の叙勲受章者として、町内では安澤康彦さん（岬町）に瑞宝単光章が授与されました。

昭和40年に羅臼村消防団員として任命されて以来、平成13年2月の海岸町で発生した住宅火災への対応や、消防団員の入団勧奨活動など、約41年間の消防団員としての活動の功績が認められたものです。おめでとうございます。





羅白いさり火吟社

新緑を揺さぶる風の川下り

お使いの少女夏めく髪飾り

傾きし古老の句碑の草むしる

せせらぎの音の中より夏つばめ

山桜またふり返る峠かな

草むしり萩が身に余る広き庭

桜散る如く終えたし萩が命

英 美

鹿 山

羅 牛

日 奈

千 帆

白 浪

佳 雪

5月例会句
平成24年5月

俳句同好会「羅白いさり火吟社」では投句を募集致します。
住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、
左記までお問い合わせ下さい。
〒086-11834 羅白町礼文町
羅白いさり火吟社事務局 小野寺千鶴枝(電話0153-187-12569)

課 名	直通番号	課 名	直通番号
企画振興課	87-2114	建設水道課	87-2163
総務課	87-2111	議会事務局	87-2180
出納室	87-2112	公民館	87-2004
税務財政課	87-2113	教育委員会 社会教育課	87-2004
環境生活課	87-2115	教育委員会 学務課	87-2129
保健福祉課	87-2161	町民体育館	87-2408
地域包括支援センター	87-5880	郷土資料館	88-3850
水産商工観光課	87-2126 87-2128		

「ダイヤルイン」をご存知ですか？

役場では、それぞれの課に直通番号（ダイヤルイン）を設けております。
みなさんの声を早く伝えるためにも、用件先の担当課をご存知の場合、記載の電話番号にご連絡いただきますようお願いいたします。



寄付・寄贈 ありがとうございました

【エゾヤマザクラ寄贈】

釧路自動車販売店協会 様

【座布団寄贈】

濱田次臣様

知床・羅臼まちづくり基金

【医療・保健・福祉の

まちづくり推進に関する事業
(診療所建設事業含む)】

望月武彦様

杉中正人様

【知床の自然保護・保全に関する事業】

鹿又芳弘様

北海道コカ・コーラボトリング(株) 様

小尾和子様

(平成24年4月28日)
平成24年6月25日受付分掲載

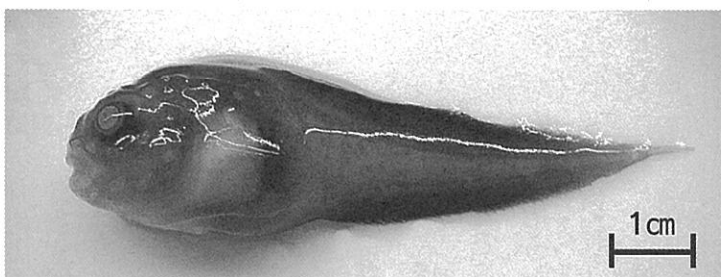
羅臼の海洋深層水から 新種の魚が見つかりました

写真をご覧ください。オタマジャクシではなく海洋深層水から見つかった新種の魚です。和名として「タマコンニャクウオ」、学名として「Careproctus rausuensis (カレプロクタス ラウスエンシス)」と名付けられました。「羅臼で見つかったコンニャクウオ属の魚」という意味になります。

大きいものでも13センチ程度(写真の魚で8センチくらい)というごく小さな魚なのでこれまで網にもかからずに発見されていなかったと考えられています。

深層水といっしょにくみ上げられる魚やプランクトンは大きな「ざる」のようなストレーナーで止められるようになっていきます。このタマコンニャクウオもストレーナーで止められた魚を調べていた研究機関が発見しました。羅臼の海洋深層水が産業だけでなく学術でも大きな役割を果たしました。第2第3の発見も期待されるところです。

水産商工観光課水産農林係 ☎87-2128



TAXコラム (税務財政課通信)

「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済ですか？」

平成24年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済ですか。

納期限を過ぎて納税しますと、督促手数料、延滞金などが加算されますので、納期限内に納税するようお願いいたします。

また、納期限内に納税されない場合は、不動産、自動車、預貯金、給与、生命保険等の差押えの対象となりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

「一度に納税できない場合は、納税相談を！」

なお、一度に納税できない方は、納税相談を行っておりますので、気軽にご相談ください。

また、休日窓口や夜間窓口も随時開設しておりますので、ぜひご利用ください。

「納税は、便利な口座振替で！」

町税等は、銀行などの預貯金から口座振替の方法で納めることができます。

口座振替を利用されますと、わざわざ納期ごとに金融機関や役場にお出かけいただくことなく、自動的に預貯金から振り替えられます。

手続きは簡単ですし、通常は一度のお申し込みで、翌年度以降も継続されます。

詳しくは、役場税務財政課までお問い合わせください。

<お問合せ先> 役場税務財政課 TEL 87-2113

赤ちゃん誕生

(敬称略)

(掲載はいずれも平成24年5月16日～平成24年7月15日受付分)

おくやみ申し上げます

(敬称略)

(掲載はいずれも平成24年5月16日～平成24年7月15日受付分)

町民のための診療所として、知床らうす国民健康保険診療所

7月2日より、社会医療法人孝仁会の運営により新たなスタートを切った診療所。新しい施設を利用される方はどのような思いで、何を期待しているのか。実際に診療に来られた方々にお話を伺いました。

■新しい診療所はどうですか？

診察まで結構時間がかかったなあ。スタッフも素人なんだろうし、仕方がないか。

高い医療機器も入っているようだし、便利な診療所にしてもらわないとね。

■他の町に通院はされていますか？

中標津や釧路に行ってるよ。

■これから診療所に何を期待しますか？

どこの病院も医師の確保は課題さ。医師がいなければ患者も離れるだろうし。そうなれば、前の診療所と同じ。孝仁会には医師の体制が崩れないよう期待したいね。

■新しい診療所はどうですか？

作りが変わっていて、診療所じゃないみたい。まだ工事中のせいか、待合室が暗く感じるね。

■他の町に通院はされていますか？

今までは釧路の日赤や、孝仁会にお世話になったの。羅臼に孝



本町 福士 智熙子さん



船見町 田中 好美さん

仁会が来るって聞いて、前にお世話になった先生に診てもらえるし、良かった。

■これから診療所に何を期待しますか？

24時間救急を受け入れてくれると思うと安心するね。

■新しい診療所はどうですか？

初めて入ったけど、きれいで良いね。

■これから診療所に何を期待しますか？

医師確保は羅臼町の長年の課題だったよね。医師も揃って、経営が安定してほしいよね。施設は新しくても、治療を受けられないと困るしね。

新しい体制となり、

24時間救急を始め、様々なサービスが受けられるようになりました。

大切な家族や友達を守る町内唯一の医療機関として、これからは町民みんなで守っていく意識が大事ですね。



松法町 川口 賢治さん

編集後記

みなさんの診療所に行く目的は？

ほとんどの人は“薬”や“治療”と言うでしょう。

新しくなった診療所では、予防に力を入れており、色々な健診を受けることが出来るそうです。

“今日は健診”という会話が当たり前になり、みんなが健康でいられるといいですね。(N)

人の動き

平成24年6月末現在

()内は平成24年4月末対比

人口	5,925人	(+ 9)
男	2,934人	(+ 2)
女	2,991人	(+ 7)
世帯	2,202世帯	(+13)

